



エコペンは、山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

山形県には、916名の地球温暖化防止活動推進員がいます。(2019年8月時点)

こんな方が地球温暖化防止活動推進員として活動しています。

山形県内の地球温暖化防止活動推進員(以下、「推進員」という)には、公募の方と環境マイスターの方がいます。

公募の方は、候補者として3日間の研修を受講後、推進員に委嘱されます。候補者向けの研修会は毎年実施しています。また、環境マイスター(※)の方は、団体の推薦により推進員として委嘱されます。

各個人での活動も行っていますが、団体に所属するなどして他者と連携しながら、山形県の目標である「温室効果ガスを2030(令和12)年度までに2013(平成25)年度比で26%削減《中期目標》」を達成するため、日々活動をしています。

※環境マイスターとは、温暖化防止、省エネルギー、グリーン購入等の知識、情報を提供し、消費者がより環境負荷が少ない製品を適切に選ぶことができるように促す店頭販売員のこと。山形では、自動車部門、家電部門、サッシ・ガラス部門での認定を行っている。なお、山形県と各業界団体が温暖化防止に係る活動での協定を結び、環境マイスターが推進員としても委嘱されている。

地球温暖化防止活動推進員の活動・活躍

地球温暖化防止活動推進員の活動・活躍について、主なものを紹介します。(具体的な事例も)

活動① 出前講座等での活躍

山形県では、家庭で身近にできる省エネや、太陽光発電などの再生可能エネルギーについて学習する『出前講座』を開催しています。推進員による出前講座では、公民館の行事や町内会・消費者団体などの会合、あるいは学校等において、省エネルギーの推進や、再生可能エネルギーの導入による地球温暖化対策について、皆さんにわかりやすく説明します。

推進員派遣事業(平成30年度実績) 51件

例: 県が作成した環境学習プログラム(6テーマ)を推進員派遣事業として、学校に出向き行っています。講師はもちろん推進員が務めます。



活動② 協議会などでの活躍

推進員は、個人での活動の他、市民団体や企業等に所属し、そこでの活動でも活躍しています。特に山形県では、地球温暖化対策地域協議会を各地域(4か所)や市町村単位でも設立しており、推進員は会員として所属するだけでなく、会長や副会長なども務めています。

例: 置賜地域地球温暖化対策協議会では、会員である推進員が中心となり、環境講座を毎年開催しています。事前の企画会議でアイデアを出し、講師やスタッフも推進員が務めます。



活動③ イベント等での啓発活動

推進員は、県、市町村及び地域の環境団体、センター等が主催する環境イベントに協力し、県民の方々に地球温暖化防止を呼びかけています。各地域で開催される環境以外のイベントも含めた多様な場所で、温暖化対策を呼び掛けています。

平成30年度実績 22箇所、延べ5,084名への啓発



活動④ 環境マイスターの活躍

山形県の推進員として特徴的なのが、「環境マイスター」から委嘱された方です。自動車部門、家電部門、サッシ・ガラス部門がありますが、より専門的な知識を持ち、日々の仕事の中でも温暖化防止の啓発活動を実施しています。

例: エコドライブ講習の開催やイベントへの出展等の活動があります。



※このほか、「自らの家庭・仕事において、率先して節電、ゴミの減量などといった地球温暖化防止活動に取り組む」などの活動も実施しています!!

地球温暖化防止活動推進員については、ホームページでも紹介しています。
<http://eny.jp/ccao/index.html>

